

OnAir 1500 ユーザーレポート

山口放送株式会社 様

OnAir 1500-12F

KRY 山口放送

ラジオ第3スタジオを OnAir 1500 で更新



山口放送株式会社
技術局 制作技術部
寺岡 岳男

山口放送のラジオスタジオとしては、日々の生ワイド番組を制作している第1スタジオ、生放送対応の第2スタジオ及び第5スタジオ・第9スタジオ、収録用の第3スタジオ及び第4スタジオがあります。

今回音声卓を更新した第3スタジオは、第2スタジオとともに自社制作番組の収録や編集の主力として使用しているスタジオです。この第3スタジオの音声卓は昭和61年の導入以来長期間運用してきましたが、音声卓全体のS/N比劣化が進むなど、自社での保守も限界にきたことからラジオ第3スタジオの音声卓更新を行いました。



- 既設音声卓の長所を引き継ぐために
 - ・更新前の音声卓のように長期間にわたり安定して動作すること
 - ・ディレクターやアナウンサーのみで簡単に収録できること
 - ・オペレートに必要な素材は全てフェーダーに立ち上げ可能なこと
- 既設音声卓の短所を補うために
 - ・入出力信号は、ジャック盤経由とする
 - ・エンジニア操作時には、EQ・Dyn・バス送り等の細かい設定が可能なこと
 - ・スタジオ稼働率を上げるためワンマン収録に対応可能なこと
- その他
 - ・国内の民放ラジオに採用実績のあること
 - ・国内の保守体制が長期間にわたり維持できること
 - ・番組ごとに必要な設定を、簡単に読み出せること
 - ・メーカーからは機材購入のみとし、工事は自社対応とする

上記の方針により STUDER 製 OnAir 1500 を選定しました。

既にラジオ第2スタジオに OnAir 2500 が導入されていたこともあり、ディレクターには30分程度のレクチャーを行っただけで「隣のスタジオと

同じ感覚で使える」といった感想をもらい、翌日から問題なく番組収録ができています。

設置工事については、OnAir 2500 の導入経験があることからスチューダー・ジャパンブロードキャスト様からは機材購入のみとし、工事については自社作業とすることで、経費削減を図りました。

これにより、系統・レイアウト等の設計・既設機器の制御・事前のケーブル端末処理・迷子札製作・ケーブル布線や現地据付工事など、見積書では各項目として一行二行で表現される作業を体感できて良い機会となりました。今後の保守も迅速に対応できると思います。

山口放送では今年、ワイド FM 放送を開始しました。この第3スタジオの音声卓更新は高音質化の効果が発揮できるよい時期に実施できたと思います。

最後に、最終調整時及び施工時に助力を頂いた、スチューダー・ジャパンブロードキャスト様、アイコニック様にこの場を借りて御礼申し上げます。

